

【議会報告会】

質疑なし

【シティ・ミーティング】

《テーマ：公共交通について》

- 小山田地区のバスの運行本数が減少し、かつ料金が値上がりしている。通学に利用する子どもの利便性が損なわれ、保護者の負担も増している。また、あすなろう鉄道にしろ、デマンド交通の社会的実験にしろ、周知方法を再考した方が良いのではないか。
⇒議員 市内の公共交通については、車社会の発展や不採算路線の見直しなどにより、便数の減少に伴う利便性の低下による利用客がさらに減少するという悪循環に陥っている面があるが、車に乗れない高齢者などの社会的弱者や学生の交通手段の確保として、デマンド交通の社会的実験に取り組むなど、試行錯誤をしている。

- デマンド交通の実証実験は、身近に利用する者がいたので、知っていたものの、身近に利用する者がいなければ、その存在そのものを知らず、周知方法に課題があると思う。
⇒議員 今回実施したデマンド交通の実証実験の評価検証を行った上で、今後も引き続き実証実験を行う場合には、今回いただいた周知方法の課題を踏まえて、実証実験に取り組むように、担当部局に伝える。

- デマンド交通の告知について、回覧だけではなく、市としてしっかりとした告知を行ってほしい。
⇒議員 今回実施したデマンド交通の実証実験の評価検証を行った上で、今後も引き続き実証実験を行う場合には、今回いただいた周知方法の課題を踏まえて、実証実験に取り組むように、担当部局に伝える。

○ あすなろう鉄道を利用しようと思うと、駅まで車で行く必要があるが、駅前に駐車場がないので、利用しようにもできない。また、四日市市内では鉄道の沿線沿いの地域とそうではない地域では公共交通の実情が違うため、その地域の実情に応じた公共交通のあり方を考えてほしい。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局にも伝える。

○ デマンド交通に告知については、担当部局から自治会に対して、しっかりとなされており、その点は問題はなかった。ただ、それが浸透するような周知には、至っておらず、ここが一番難しいところである。

⇒議員 今回実施したデマンド交通の実証実験の評価検証を行った上で、今後も引き続き実証実験を行う場合には、今回いただいた周知方法の課題を踏まえて、実証実験に取り組むように、担当部局に伝える。

○ デマンド交通の夫婦で利用しようとして申し込んだものの、利用条件に合致するものがなく、結果的に利用はしなかった。このように利用を検討したものの、利用できなかった人もいると思うので、その背景を探る意味でも、2か月程度の実験期間ではなく、もっと期間を設けるべきではなかったのか。

⇒議員 今回実施したデマンド交通の実証実験の評価検証を行った上で、今後も引き続き実証実験を行う場合には、今回いただいた周知方法の課題を踏まえて、実証実験に取り組むように、担当部局に伝える。

○ 資料のタクシー事業者に関する事項の中で、運行困難な地域に小山田地区があるがどういうことか。また、コミュニティバスを市内全域で運行させる計画はないのか。

⇒議員 市内のタクシー事業者の営業所は市の中心部にあるため、中心部から郊外的小山田地区は距離的な制約で、運行が困難と回答していると思われる。また、NPO法人が運行しているコミュニティバスについては、現在、羽津地区で運行されているものである。また、コミュニティバスは、NPO法人が羽津地区で運行しているものであり、それを小山田地区でも運行させる計画があるかどうかまでは把握できて

いない。

- 地域として支えられることは皆で協力し合い、地域の公共交通は地域で守っていくという姿勢が必要ではないか。しかし一方で、ボランティアで地域住民の送迎をしようと思うと、事故に遭った際のリスクが浮上し、二の足を踏んでしまう現実もある。

⇒議員 そのような課題を解決できる手段の1つとして、デマンドタクシーの活用を検討し、実証実験に至った経緯がある。

- 均一的ではなく、地域の実情に応じた公共交通のあり方を検討するべきではないか。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局にも伝える。

- 公共交通は特定の地域の問題ではなく、四日市市全体の問題でもある。公共交通を社会的資源として残すことは大切であるが、幅広い視点で公共交通の仕組みそのものの見直しに取り組むべきではないか。

⇒議員 現在、公共交通とは何かが問われている。この地域にはどのような課題があり、その課題に対して、どのように対応すべきなのかを掘り下げていく必要がある。そうしないと、場当たりの対応に終始してしまう恐れがある。

- 笹川通りを通るバスは朝夕にあるのみで、日中の便がなく、四郷地区市民センターに行こうにも、利用できる公共交通がないのが現状である。

⇒議員 地域住民自らが、バスの路線変更については、運行している会社に対して、地域のこのようなニーズがあるという声を届けてほしい。これらは他の地域でも同様の課題であり、運行会社にとって、利益がでない路線は維持していくのが困難である。そのような事情がある中、何ができるかという、まずは地域が求めているものは何かということ把握し、方向性を見出す必要がある。一方で、同じ地域内でも置かれている状況が違うこともあり、地域内での意見集約を図ることが難しいという課題もある中、容易にできることではないことは重々認識しているが、地域の最大公約数的な意見集約を図っていただくなどの地域での取り組みも必要であり、皆さ

まのお力添えを賜りたい。

《その他》

○ 以前から問題になっているごみの持ち去りについて、早朝に持ち去る者がいるが適切な対応を取っているのか。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局にも伝える。

○ 大阪府北部地震のブロック塀倒壊事故を受け、小山田地区内で危険と思われるブロック塀について、その撤去を持ち主に依頼し撤去していただいている。そのような中、新聞報道にあったブロック塀の除去に対する市の補助について、柔軟な運用を行われるように市に伝えてほしい。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局にも伝える。